

第17回 土佐西南文化交流祭より

2月5日(日)、幡多地区文化協会主催、三原村教育委員会共催による「第17回土佐西南文化交流祭」が、三原村農業構造改善センターにおいて開催されました。

日頃より、地域の公民館等を中心に活動されている市町村文化協会のみなさんの発表の場として、盛大な交流祭になりました。

会場には三原村の特産物の販売コーナー、小笠原流茶道の先生によるお茶のサービスや、すばらしく飾られた生け花など、ほっとする空間が演出され、参加した皆さんの癒しの時間ができていたのではないのでしょうか。

開会行事のあと、地元三原村の「せせらぎ会」のみなさんによる大正琴の演奏で幕を開けました。「南国土佐を後にして」「ふるさと」などどこか懐かしさを感じる大正琴の音色はとても心地よいものでした。

日本舞踊、コーラス、民踊、剣舞、フラダンス、吟詠と17本の演目が発表されました。全ての発表が日頃の積み重ねをしっかりと出しきり、表現されていたと思います。



途中でのお楽しみとして、三原小学校の教頭先生の踊りもあり、和やかに交流祭ができたことは、とても有意義だったと思います。

発表の最後には、三原村の伝統である「銭太鼓」を銭太鼓愛好会のみなさんが披露してくれました。三原村のみなさんの交流祭に対する熱い思いを感じることができました。

また、ステージにも竹の装飾がなされ、みなさんの発表に花を添えていました。発表を終えられた方々の笑顔がとても印象的でした。

この交流祭を通して、伝統芸能などの奥深さや楽しさを感じ、これを継承していくには、学校とコラボレーションして取り組み、子どもたちに伝統芸能のよさや、地域の方とつながることの

大切さを感じてもらうこともいいのではないかと思います。ひいては、それが故郷に誇りを持ち、地域を大事にすることにつながるのではないかと思います。

盛会に終えることができたのは三原村のスタッフのみなさんの力のおかげだと思います。参加されたみなさん、三原村のみなさんお疲れ様でした。ありがとうございました。



※各市町村の社会教育関係の予定があればお知らせください。この紙面でご紹介できればと思います。(連絡先 0880-34-0866 松下・山崎)